# 令和８年度　公共事業再評価調書

社会資本整備重点計画

| 始まる-9 |
|---|
| 守る-21 |
| |

## １．評価シート

| 事業名 | 道路事業［県道橋りょう改築事業（国補）］ | 事業箇所 | 甲府市下飯田～飯田 | 路線（川）<br>工区名 | （一）中下条甲府線<br>（長松寺橋） | 事業主体 | 山梨県<br>道路整備課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 計画期間 | 当初計画 | 現計画 | 変更計画 |
|---|---|---|---|
| | H23 ～ H30 | H23 ～ R10 | H23　～　R12 |
| 総事業費 | 950百万円 | 2,800百万円 | 3,400百万円 |
| B/C | 不算出 | 不算出 | 不算出 |

### （１）事業の進捗状況・変更内容

①進捗率（事業費ベース）　　※R8時点の値。実績は見込み。

現計画　94.6%　　実績　99.9%　　変更計画　86.8%

②事業進捗（工事・用地）

現在、用地取得及び支障物移設は概ね完了し工事に着手しているが、一部用地取得及び支障物移設に時間を要したため遅れが生じている。

③執行の見込み

一部の用地取得及び支障物移設を完了させ、工事を進め事業進捗を図る。

④変更内容とその理由

| 内容 | 事業費増減 | 変更理由 |
|---|---|---|
| 事業期間延長 | ー | 用地取得及び支障物移設に時間を要したため、計画期間を２年延長する。 |
| 仮橋撤去工 | 600 百万円 | 労務費・建設資材費の高騰により増額した。<br>関係機関協議の結果を踏まえた復旧範囲の見直し及び施工条件の変更により、事業費が増加した。 |
| | 百万円 | |
| | 百万円 | |
| 合計 | 600 百万円 | |

### （２）評価時点の費用対効果分析

※老朽化した橋梁の架け替え事業のため、不算出

（架け替えの必要性）

長松寺橋は、甲斐市(旧敷島町)と甲府市中心部を結び、沿線には、商店やオフィスが連担しており近くには高等学校がある。

朝夕の通勤時間帯を中心に自動車や自転車の交通量が非常に多く、著しい渋滞が発生しており、今後も地域の生活や経済活動を支える基幹インフラとして、適切に保全していく必要がある。

現橋付近では、道路線形も悪く、歩道も狭く片側にしかないため、交通の隘路となっている。また、橋梁も老朽化し十分な耐震性能を有していないため、早急な対策が求められている。

○橋の安全性

現行の耐震・耐荷基準を満たしていない。

橋梁法定点検は、Ⅲ判定（早期に対策を講ずべき状態）

○道路機能

現橋の復員は、道路構造令を満たしていない。

○山梨県橋梁長寿命化計画

「架替え橋梁」に位置づけられている。

### （３）所管部の方針　　見直し継続

橋梁が建設から約６０年が経過し老朽化が進み十分な耐震性能を有していないため、老朽橋対策（橋梁架替え）や現道対策（歩道設置・線形改良）が急務となっている。また、事業の完成により現行基準を満たした橋梁となるとともに、走行安全性の確保が期待されることなどから、事業を継続する。

計画的な用地取得を進め、変更計画に基づき令和１２年度の完了を予定している。

### （４）変更履歴　　有

（令和元年度再評価）

地元協議結果等による道路構造の見直しによる総事業費及び計画期間の変更

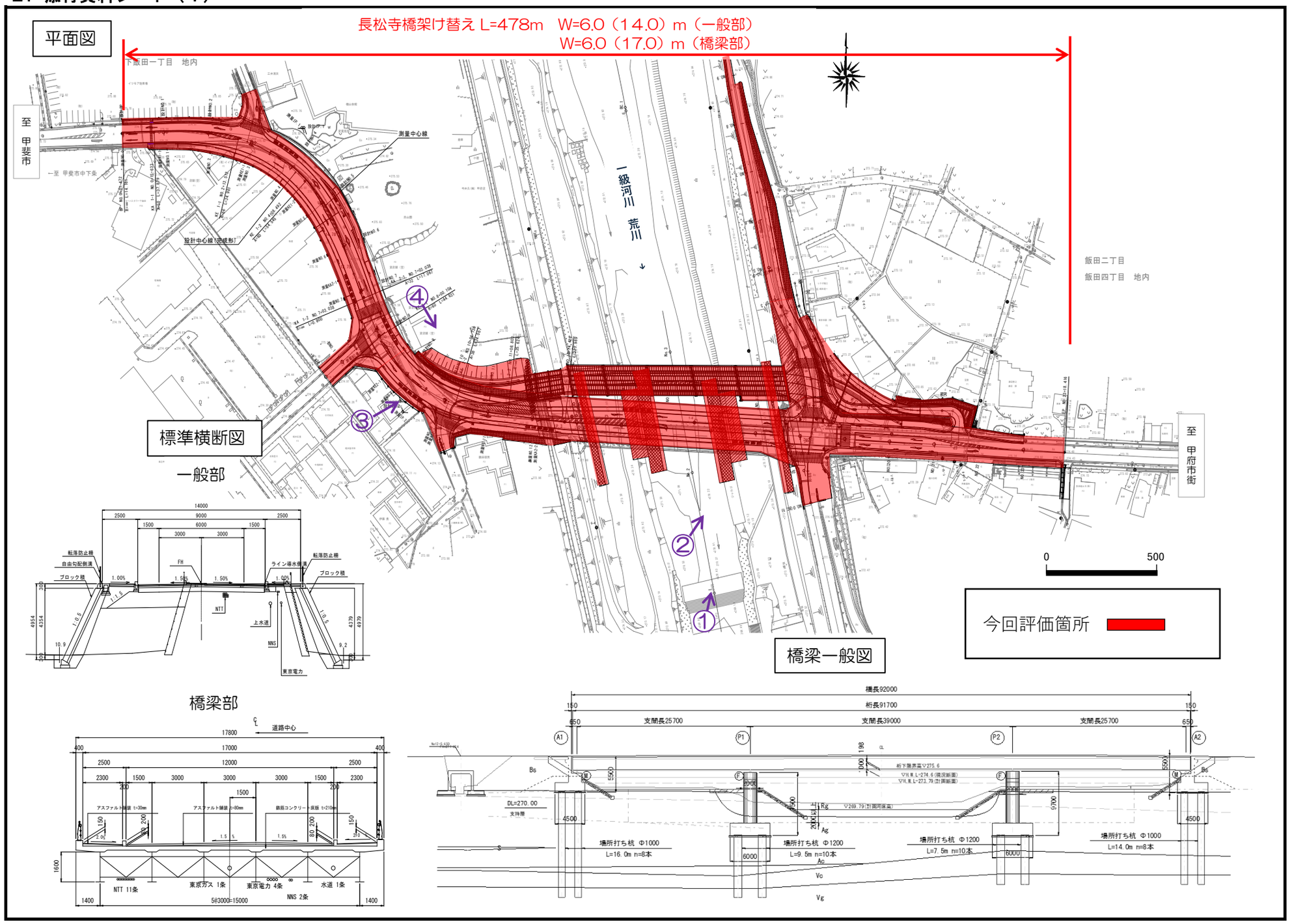
・総事業費　　9.5億円　→　28億円

・完成年度　　平成30年度　→　令和10年度

（令和６年度再評価）※再評価から５年後の評価

・ 事業費、完成年度変更なし

## ２．添付資料シート（１）


平面図
長松寺橋架け替え L=478m　W=6.0（14.0）m（一般部）
W=6.0（17.0）m（橋梁部）
下飯田一丁目　地内
至甲斐市
←至 甲斐市中下条
測量中心線
設計中心線（完成形）
一級河川 荒川
飯田二丁目
飯田四丁目　地内
至甲府市街
0
500
今回評価箇所
標準横断図
一般部
橋梁一般図
橋梁部
道路中心
NTT 1条
東京ガス 1条
東京電力 4条
水道 1条
NNS 2条
橋長92000
桁長91700
支間長25700
支間長39000
支間長25700
A1
P1
P2
A2
DL=270.00
支持層
場所打ち杭 Φ1000
L=16.0m n=8本
場所打ち杭 Φ1200
L=9.5m n=10本
場所打ち杭 Φ1200
L=7.5m n=10本
場所打ち杭 Φ1000
L=14.0m n=8本

３．評価シート（任意）

**（５）事業を巡る社会経済情勢等の変化** 有

**（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）**

**①地域・住民の意向状況**

なし

**②産業・経済情勢**

労務費・建設資材費の上昇

**③国等の方針**

なし

**④上位計画・関連事業計画等**

「山梨県総合計画」（令和5年10月策定）
「山梨県強靭化計画」（令和6年3月改訂）
「山梨県社会資本整備重点計画（第五次）」（令和8年3月策定）
「山梨県道路の整備に関するプログラム」（令和8年3月改定）
「リニアやまなしビジョン」（令和2年3月）

**⑤自然環境条件等**

なし

**⑥その他**

なし

**（６）環境負荷等への配慮** 無

**（７）コスト縮減の可能性** 無

**（８）代替案立案の可能性** 無

**（９）事業概要の大幅な変化** 無

**（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）**

①事業の目的

②目標・効果

主要目標

副次目標

副次効果

③整備内容

④特記事項（関連事業概要等）

## ４．添付資料シート（２）

①全景（下流から上流方向）



②施工状況（床版工事）



③幅員が狭く、車両が対向車線にはみ出している
また、自転車走行空間が確保されていない



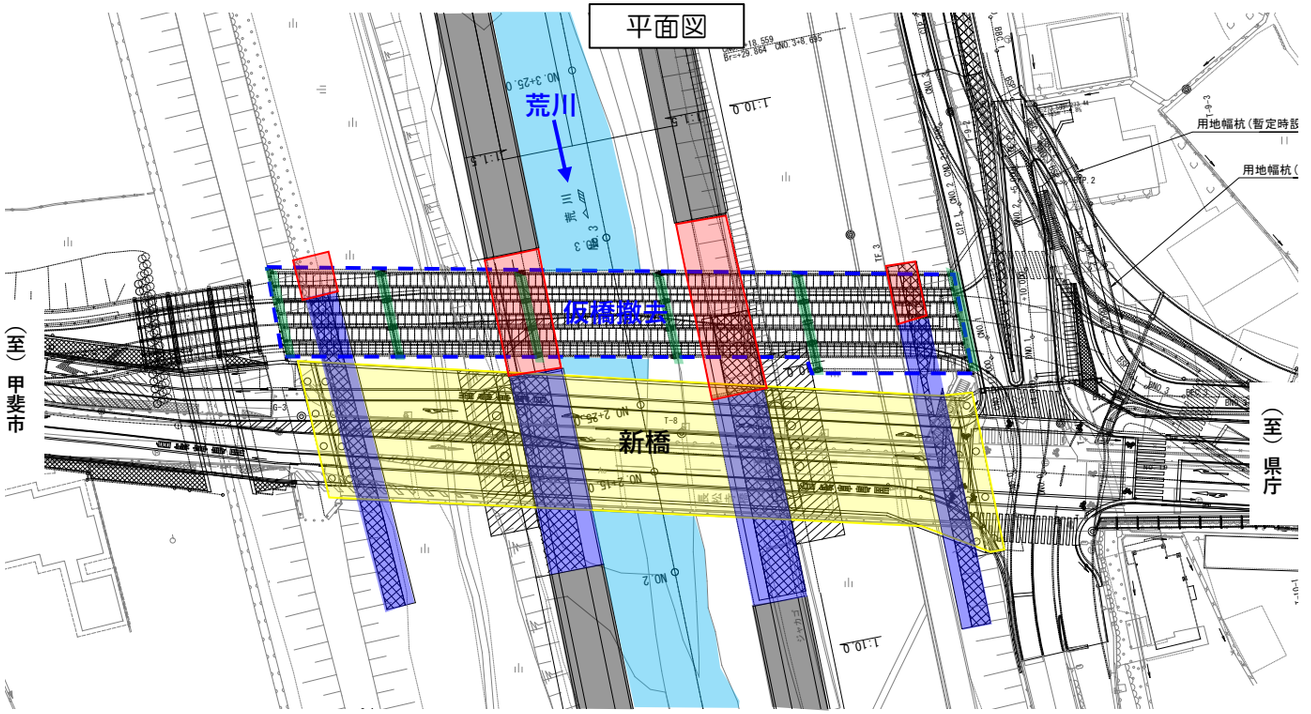

④通勤・通学時間帯の状況
（事業化した平成23年頃の様子）



## 変更内容　仮橋撤去に関して

仮橋撤去に伴う河川管理者協議の結果、護岸復旧範囲が当初計画より拡大したことに加え、仮橋杭の支持層深度の変更に伴う杭長延長により、仮橋撤去の施工計画を見直した。このため、河川内の切り回しや坂路の設置・撤去の増加など仮設計画の変更が生じ、事業費が増加している。

平面図

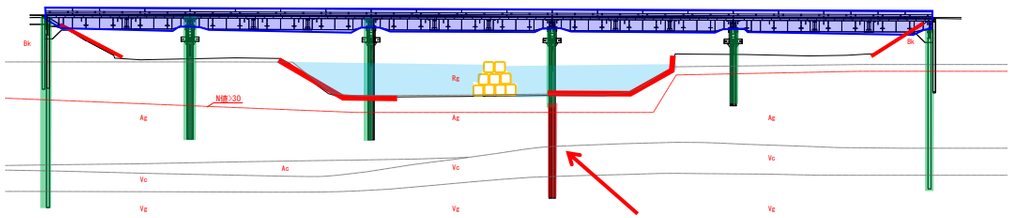



現地写真（R8.8撮影）





仮橋側面図



粘性土層が当初想定よりも厚いことが確認されたため、杭長を延長したことにより撤去費用も増加した。

【前回再評価調書】

# 令和６年度　公共事業再評価調書

## １．事業説明シート

（区分）（国補）・　県単

| 事業名 | 道路事業［県道橋りょう改築事業（国補）］ | 事業箇所 | 甲府市下飯田～飯田 | 地区名 | （一）中下条甲府線（長松寺橋） | 事業主体 | 山梨県 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| | 当初計画 | 現計画 | 変更計画 |
|---|---|---|---|
| 計画期間 | H23～H30 | H23～R10 | － |
| 総事業費 | 950 百万円 | 2,800 百万円 | － 百万円 |

### （１）事業の概要

**①事業目的及び効果**

県道中下条甲府線は甲斐市（旧敷島町）を起点に甲府市中心部に至る道路であり、当該箇所付近は商店やオフィス、高等学校があることなどから、朝夕の通勤時間帯を中心に自動車や自転車の交通量が非常に多くなっている。また、長松寺橋付近は道路線形が悪く片側にしかない歩道も幅員が狭いため交通の隘路となっている上、橋梁自体も建設から約６０年が経過し老朽化が進み十分な耐震性能を有していないため、老朽橋対策（橋梁架替え）や現道対策（歩道設置・線形改良）が急務となっている。

□主要目標　○災害に強い道路の確保
　危険度（橋梁等）　：要対策
　老朽度（残存老朽度）：0.83　＞　－
　緊急輸送道路の指定　：指定あり（第二次緊急輸送道路）
　自動車交通量　：12,377台/12h（H17センサス）
　　＞　3,340台/12h以上※
　　※評価基準値
□副次目標　○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上
□副次効果　○走行安全性の確保

**②事業概要**

計画延長：L=478m　W=6.0（17.0）m
道路幅員：車道6.0m（2車線）　自転車通行帯1.5m（両側）　歩道2.5m（両側）

**③全体計画**

| | | 令和５年度まで | 令和６年度（評価実施年度） | 令和７年度以降 |
|---|---|---|---|---|
| 現計画 | 工事内容 | 測量及び道路設計<br>用地取得・補償<br>道路改良工<br>仮橋工・橋梁工 | 橋梁上部工 | 橋梁上部工<br>交差点改良工<br>仮橋撤去工<br>道路改良工・舗装工 |
| | 事業費 | 1949 百万円 | 433 百万円 | 418 百万円 |
| 変更計画 | 工事内容 | 測量及び道路設計<br>用地取得・補償<br>道路改良工<br>仮橋工・橋梁工 | 橋梁下部工<br>橋梁上部工 | 橋梁上部工<br>交差点改良工<br>仮橋撤去工<br>道路改良工・舗装工 |
| | 事業費 | 2253 百万円 | 197 百万円 | 350 百万円 |

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

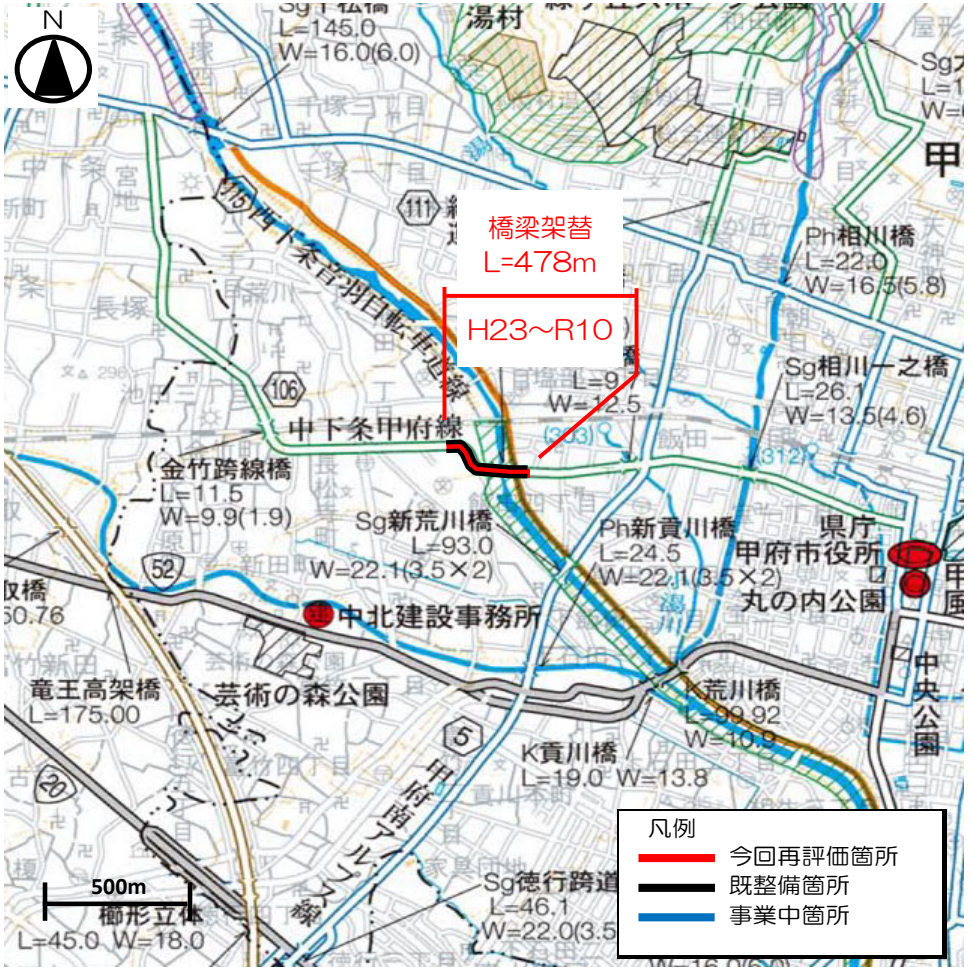
**④特記事項（関連事業概要等）**

・荒川河川工事（R5～R7）

**⑤これまでの評価状況（令和元年度再評価）**

計画への地元合意が概ね得られたこと、この事業の完成により、現行基準を満たした橋梁となるとともに、走行安全性の確保が期待されることなどから、見直し案により事業を継続することが妥当である。

### （２）事業位置図等



【前回再評価調書】

## 2.評価シート（1）

### （1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

**①地域・住民の意向状況**

変化なし

**②産業・経済情勢**

変化なし

**③国等の方針**

変化なし

**④上位計画・関連事業計画等**

- 「山梨県総合計画」（令和５年１０月改訂）
- 「山梨県強靭化計画」（令和６年３月改定）
- 「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和４年９月改定）
- 「山梨県道路の整備に関するプログラム」（令和６年３月改定）

**⑤自然環境条件等**

変化なし

**⑥その他**

変化なし

### （2）評価時点の費用対効果分析

| 項　目 | | | 着手時点 | 変更計画時点 |
|---|---|---|---|---|
| 総事業費 | | | 百万円 | 百万円 |
| 工　期 | | | ～ | ～ |
| 経済効率性 | 評価基準年 | | | |
| | 費用 | | 百万円 | 百万円 |
| | | 建設費 | 百万円 | 百万円 |
| | | 維持管理費 | 百万円 | 百万円 |
| | | その他（　） | 百万円 | 百万円 |
| | 便益 | | 百万円 | 百万円 |
| | | | 百万円 | 百万円 |
| | | | 百万円 | 百万円 |
| | | | 百万円 | 百万円 |
| | | その他※ | 百万円 | 百万円 |
| | B／C | | | |

※老朽化した橋梁の架け替え事業であり、費用便益の算出規定がないため
不算出

### （3）これまでの計画変更等の概要

（令和元年度再評価）
地元協議結果等による道路構造の見直しによる総事業費及び計画期間の変更
- 総事業費　　9.5億円　→　28億円
- 完成年度　　平成30年度　→　令和10年度

【前回再評価調書】

評価シート（2）

## （4）事業進捗状況及び見込み

**①進捗率**

別表のとおり。

Ｒ６年度進捗率（現計画）85.1%→（実績）87.5%→（変更計画）87.5%

**②進捗率実績が計画と相違している理由**

なし

**③総事業費の変更内容**

| 変更工種等 | 事業費増減 | 変更理由 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| 合　計 | | |

**④事業期間の変更理由及び進捗予定**

なし

**⑤今後の事業執行における留意点**

なし

## （5）環境負荷等への配慮

なし

## （6）コスト縮減の可能性

なし

## （7）代替案立案の可能性

なし

## （8）所管部の今後の方針

継続・見直し継続・その他（　　）

（理由）

災害時の緊急輸送道路としての機能強化や走行安全性の確保に寄与する重要な事業である。令和元年度に見直した計画のとおり順調に進捗しており、令和10年度の完成を予定している。

**○別表-進捗率（事業費ベース）**

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100　【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100　【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100　　単位：%

| | 年度 | *H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | *R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 現 | 計画 | 3.6 | 8.2 | 11.8 | 13.0 | 13.6 | 21.6 | 23.7 | 33.0 | 42.3 | 51.5 | 58.2 | 65.3 | 69.6 | 85.1 | 94.4 | 96.7 | 99.1 | 100 |
| | 実績 | 3.6 | 8.2 | 11.8 | 13.0 | 13.6 | 21.6 | 23.7 | 33.0 | 46.0 | 53.2 | 57.8 | 68.3 | 80.5 | 87.5 | | | | |
| 変更計画 | | | | | | | | | | | | | | | 87.5 | 91.1 | 94.6 | 98.2 | 100 |

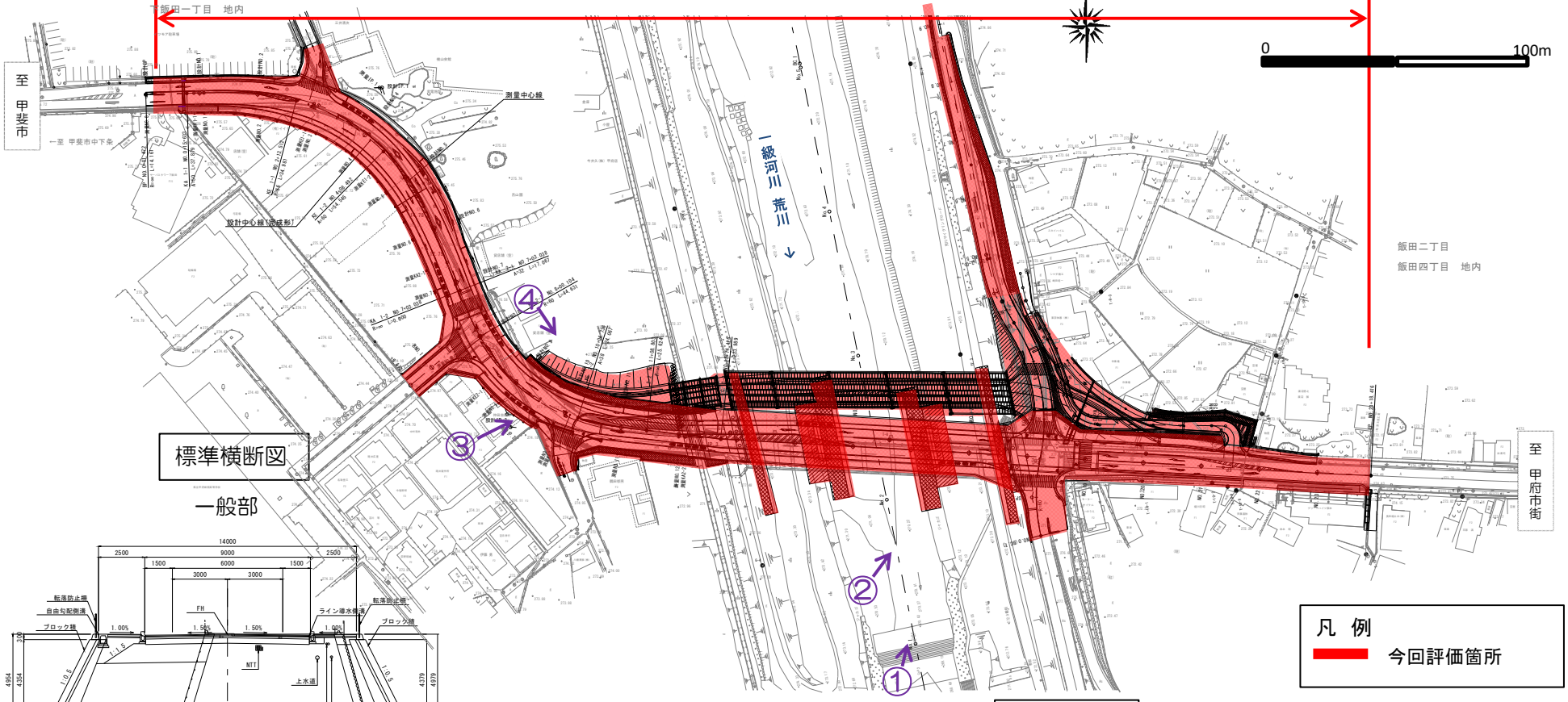
*事業着手年度又は評価年度

*R６年度の実績は見込み

【前回再評価調書】

## 平面図

長松寺橋架け替え L=478m　W=6.0（14.0）m（一般部）
W=6.0（17.0）m（橋梁部）

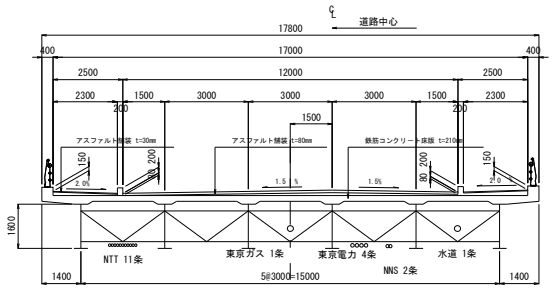



## 標準横断図

### 一般部



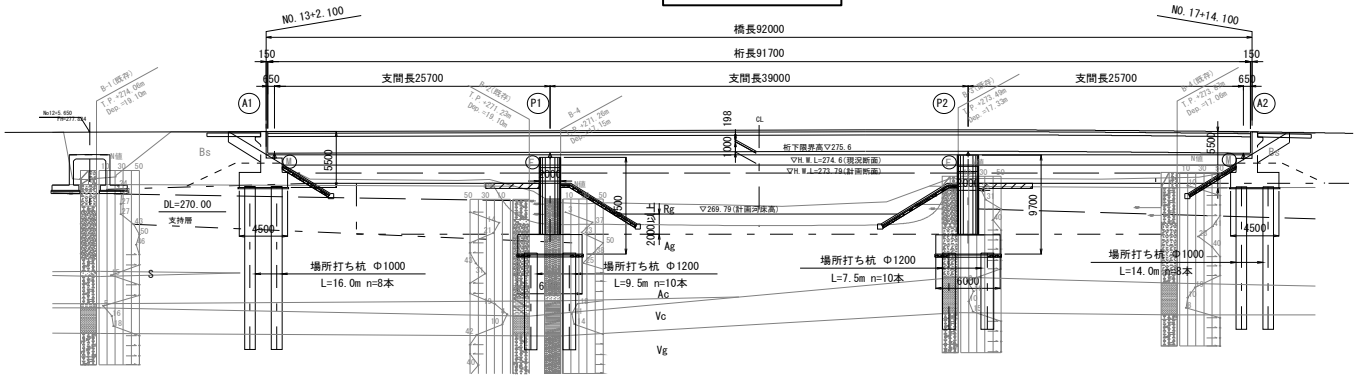

### 橋梁部




## 凡　例

今回評価箇所

## 橋梁一般図



【前回再評価調書】

①全景（下流から上流方向）



②長松寺橋左岸（P2橋脚）



③幅員が狭く、車両が対向車線にはみ出している
また、自転車走行空間が確保されていない




④通勤・通学時間帯の状況
（事業化した平成23年頃の様子）



## 4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

| 年度 | 変更事業費<br>（千円） | 事業概要 | 進捗率<br>（%） |
|---|---|---|---|
| H23 | 99,943 | 用地測量調査・路線測量・道路・橋梁設計・用地補償 | 3.6% |
| H24 | 129,030 | 橋梁詳細設計・用地補償・道路改良工事 | 8.2% |
| H25 | 102,469 | 用地補償・道路改良工事 | 11.8% |
| H26 | 31,945 | 用地補償・道路改良工事 | 13.0% |
| H27 | 17,645 | 交差点修正設計・道路改良工事 | 13.6% |
| H28 | 224,608 | 用地補償・護岸修正設計 | 21.6% |
| H29 | 58,456 | 用地補償・側道工・交差点改良工（暫） | 23.7% |
| H30 | 258,653 | 側道工・交差点改良工（暫）・仮橋工 | 33.0% |
| R1 | 365,165 | 交差点改良工事（暫）・移設補償 | 46.0% |
| R2 | 202,252 | 旧橋撤去工事 | 53.2% |
| R3 | 127,585 | 旧橋撤去工事・橋梁照明工事・道路修正設計 | 57.8% |
| R4 | 294,349 | 橋梁下部工事（A1・P1） | 68.3% |
| R5 | 341,423 | 橋梁下部工事（P2）・道路改良工事（函渠工） | 80.5% |
| R6 | 196,477 | 橋梁下部工事（A2）・橋梁上部工（制作）・用地補償 | 87.5% |
| R7 | 100,000 | 橋梁上部工（架設） | 91.1% |
| R8 | 100,000 | 橋梁床版工事・橋面舗装工事・交差点改良工事 | 94.6% |
| R9 | 100,000 | 仮橋撤去工事 | 98.2% |
| R10 | 50,000 | 道路改良工事 | 100.0% |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | 2,800,000 | | |



【前回再評価調書】